



Select DAC

DSD256x, PCM384kHz D/A Converter

Users Manual



MSB Technology

Select DAC

DSD256x, PCM384kHz D/A コンバーター

[取扱説明書]

もくじ

はじめに/MSB Select DAC の概要.....	3
梱包内容/諸注意(設置/接続/電源コード/使用).....	4
クイックスタート ガイド.....	5
セットアップ/接続/操作	
パーンインについて	
リアパネル各部.....	6
入力モジュール.....	7
システムクロック.....	8
アナログ出力.....	9
パワーサプライ.....	10
操作.....	12
リモコン.....	13
リモコンの電池装着/安全に関するご注意(リモコン用電池の取扱について).....	14
メニュー・モード.....	15
トラブルシューティング.....	17
主な仕様.....	18
保証.....	19

はじめに

このたびは、MSB テクノロジー "Select DAC" をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本取扱説明書には、本機の設置や操作についての重要な情報が含まれています。

本機の優れた機能・性能を存分に発揮させ末長くご愛用いただくため、本説明書を一通りお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

[MSB Select DAC 概要]

MSB テクノロジー社のフラッグシップモデル Select DAC は、幾世代にもわたって深化を遂げてきた独自のディスクリート・サインマグニチュード・ラダーDAC 方式、超低ジッターFemto クロック機構、優れたヒートシンキング構造など、これまで MSB が培ってきた優れたフィーチャーの上に、初めて、DAC 構成を L/R それぞれに 8 チャンネル、計 16 チャンネルの高複合パラレル仕立てとし、オペアンプを使用することなく高いドライブ能力と圧倒的レゾリューションによる高 S/N を実現。高音質を極限にまで高めた D/A コンバーターです。

Select DAC のメカニカル・アーキテクチャーは、必要なファンクションをカスタマイズすることができるフレキシビリティを持つモジュラー方式によって構成されています。

入力モジュールは 4 系統まで対応しカスタマイズすることが可能です。

同軸/光、AES/EBU、2 系統を有する MSB 独自のインターフェース PRO I2S、DSD256X(11.2MHz) にまで対応する USB、レンダーラー入力など多彩なデジタルと、2 番目のアナログ入力の中から標準装備として 2 系統が選択でき、さらに 2 系統をオプション追装備可能です。

ボリュームコントロール機能を有するアナログ出力モジュール(1 番目のアナログ入力を併備)は標準装備として、バランス仕様またはシングルエンド仕様を指定可能です。



また、超低ジッターFemto クロックは、標準として Galaxy Clock(ジッター性能 77 フェムト・クロック) を搭載。オプションで世界最高峰のジッターレベルを誇る Femto 33 Clock(ジッター性能 33 フェムト・クロック)へのアップグレードも可能です。

電源ユニット(パワーベース)は本体とは別筐体となっています。

標準→ "Dual output Select power base" (2 系統の DC 出力を持つ1台で、デジタル系/アナログ系それぞれに電源供給)

オプション→ "a pair of Single output SELECT Power Bases" (2 台でデジタル系/アナログ系それぞれに DC 電源供給)

[梱包内容]

- 本体 : Select DAC (指定モジュール込)
- 電源 : Dual output Select power base
 - ・AC 電源コード ・DC 電源コード 2 本
- リモコン(CR2025 リチウムバッテリー2 個付属)
- 取説
- 保証登録カード(はがき)

[設置について]

- オーバーヒート防止のため、本機の両側、ならびに上方には通気を確保する空気を設けてください。
- フロントパネルにはリモコンの受光部がありますので、ラック内に設置するような場合、フロントパネルが扉などで隠れてしまわないようご注意ください。リモコンは、赤外線ですから、ガラスなどは問題なく透過します。

[接続の前に]

- 接続は、本機および接続する機器の電源コードをすべて抜いてから始めてください。

付属電源コードの取扱いについて

本機(電源ユニット)に付属している AC 電源コードは、本機専用のものです。他の機器にはご使用になれません。

ご使用上の諸注意

本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- 火災や感電等の危険を避けるため、湿気の多い場所や水のかかる場所で本機を使用しないでください。
- 火災や感電等の危険を避けるため、本機のカバーを取り外さないでください。内部にはお客様に調整していただく箇所はありません。
- 本機を、水のかかりやすい場所、湿気の多い場所で使用しないでください。また水がかかった時は、すぐに電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機を、暖炉やストーブなど熱源の近く、あるいは熱を発生する機器の付近で使用しないでください。
- 本機を、直射日光の当たる場所、あるいは低温になる場所で使用しないでください。
- 本機は指定された電源以外では使用しないでください。
- 本機のお手入れには柔らかい布をご使用ください。水やダストスプレー、溶剤、研磨剤、クリーニング剤等を筐体に直接に付けることは避けてください。

クイック・スタートガイド

[セットアップ/接続/操作]

※接続は、本機および接続する機器の電源をすべて切ってから始めてください。

※接続が完了してシステム全体に電源投入する際の順序は、ノイズ防止のため、[ソース機器]→[本機]→[アンプ]としてください。切るときは逆順です。

1. デジタルオーディオ・ソース機器の接続：

MSBトランスポート(Signature DATA CD V や Signature Universal Media Transport V など) と本機との接続は CAT-6(LAN)ケーブルを使って MSB ProI2S で接続してください。MSB 以外のトランスポートとの接続は、その他のデジタル出力端子(同軸、AES/EBU、TOSLINK など)をお使いください。

また、PC との接続は USB2.0 で接続します。

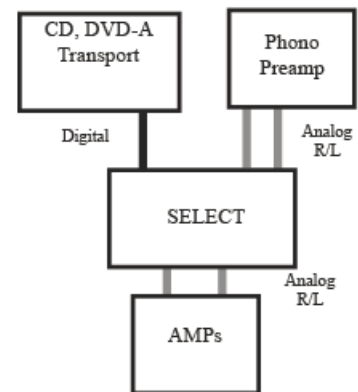
※本機はデジタルオーディオ・ソース以外にラインレベルのアナログソースの接続も可能です。但し、接続したアナログソースを再生する際は、後述のセットアップ・メニューにおいて、"Input Setup"の "Analog Input"設定を "On-Volume Controlled"、または、"On-Volume Bypassed"としてください。

2. アンプとの接続：

本機のアナログ出力を直接パワーアンプに接続します。

※Select DAC は極めて高品位なパッシブプリアンプ機能を有しています。これは、一般のプリアンプを上回る特性とドライブ能力をもっていますので、既存のプリアンプを通すよりも直接パワーアンプに接続した方が最短距離で Select DAC 本来の高音質が発揮できるためです。

尚、本機のアナログ出力はご購入時の指定によりバランスかシングルエンドのいずれかの仕様となっています。アンプの入力仕様に合った適切な接続を行なってください。



既存のプリアンプを接続する場合は、プリアンプ出力を本機のアナログ入力に接続し、セットアップ・メニューにおいて、"Input Setup"の "Analog Input"設定を "On-Volume Bypassed"とし、ボリューム調整は接続したプリアンプ側で行なってください。(→他の接続方法や設定などの詳細は 9 ページを参照)

3. 電源：本機は本体と電源(パワーベース)が別構成となっています。本体とパワーベース間の DC 電源入出力(左右 2 箇所)を付属の DC 電源コード 2 本でを繋ぎ、AC 電源入力に付属の AC 電源コードを繋いで AC プラグを壁コンセントに差し込むと電源スタンバイ状態となります(電源ランプが赤色に点灯)。

4. パワーベースの電源ボタンを押し電源 ON にすると、電源ランプの点灯が白色に変わり、本機は次のデフォルト設定状態からスタートします。

入力="Manual with smart mode"(アクティブな入力に対しての手動切り替えが可能)、ボリューム=70 (-30dB)

※電源 ON の後、ウォームアップに必要な時間は通常 3~5 時間程度です。

5. デジタルオーディオ・ソースの再生を始めると、本機のディスプレイに入力サンプルレート(kHz;周波数)とビットレート(bit)が表示され、アナログ出力します。別の入力を選ぶ場合は入力切替ボタンで操作してください。

6. ボリュームノブ(またはリモコンのボリュームボタン)で適切な音量に調節してください。

※尚、プリアンプ出力を本機のアナログ入力に接続した場合はセットアップ・メニューで、"Input Setup"の "Analog Input"設定を "On-Volume Bypassed"にし、本機の入力は "Analog"を選択し、ボリューム調整は接続したプリアンプ側で行なってください。(→他の接続方法や設定などの詳細は 9 ページを参照)

[バーンインについて]

一般的にオーディオ機器は配線材やコンデンサーなどの特性により、機器がベストコンディションに達するまで音楽再生による「バーンイン」運転が必要です。そのバーンイン時間には最低 100 時間程度を要します。

リアパネル各部



- 入力モジュール・スロット4系統(A~D):

各種入力モジュールを4系統までカスタマイズすることが可能です。

標準装備は、同軸/光、AES/EBU、PRO I2S(2系統)、Quad Rate USB、レンダラー入力などのデジタルと、2番目のアナログ入力の中から2系統を選択。後の2系統はオプション追装備できます。

- アナログ入出力(L/R):

ボリュームコントロール機能を有するアナログ出力モジュール(1番目のアナログ入力を併備)は標準装備です。

バランス仕様またはシングルエンド仕様を指定可能です。

- DC 電源入出力 x2 系統:

付属の DC 電源コード 2 本でパワーベースと本体間を繋ぎます。

- RS232

システムコントローラーで本機を操作する場合の端子です。

- トリガー: →10 ページ参照

- グラウンドジャンパー: →11 ページ参照

- AC 電源入力:

付属の AC 電源コードを繋ぎます。

入力モジュール

入力モジュール・スロット(A~D)には、5種類のデジタル入力*と追加のアナログ入力が全4系統まで装備できます。
*同軸/光、AES/EBU、PRO I2S(2系統)、Quad Rate USB、レンダーラ

■アナログ入力モジュール(XLR or RCA)

追加のアナログ入力としてバランス(XLR)かシングルエンド(RCA)が装備できます。
装備した場合は、メニュー設定でボリュームコントロール可とするかバイパスするかを選べます。

■デジタル入力モジュール

COAXIAL/OPTICAL&Word Sync Clock 出力

●RCA 端子による S/PDIF 同軸 75Ωデジタル入力と TOS LINK 端子による光デジタル入力端子です。
対応するソース機器であれば 24bit/384kHz の PCM と DoP による 128X(5.6MHz)までの DSD を受けることが可能です。
また、スタジオマスター用として低ジッターのワードクロックを送り出す BNC 端子も併備しています。



BALANCED(AES/EBU)&Word Sync Clock 出力

●AES/EBU バランス 110Ω デジタル入力端子です。
24bit/384kHz までの PCM と DoP による 128X(5.6MHz)までの DSD を超低ジッター/高解像度で受けることが可能です。
スタジオマスター用として低ジッターのワードクロックを送り出す BNC 端子も併備しています。



PRO I2S(2系統)

●PRO I2S インターフェースを装備する MSB DATA CD V TRANSPORT や UNIVERSAL MEDIA TRANSPORT V などと、専用の PRO I2S インターフェースケーブル(CAT6 LAN 仕様)で接続します。
32bit/384kHz までの PCM と 256X(11.2MHz)までの DSD を超低ジッター/高解像度で受けることが可能です。

[MSB PRO I2S インターフェース・システムとは]

MSB PRO I2S入力を装備したSelect DAC とMSB Signature DATA CD TRANSPORT VやSignature UNIVERSAL MEDIA TRANSPORT Vなどとの間で <MSB Pro I2S>接続を行なうと、DAC側の高精度マスタークロックでトランスポートを完全同期させたビットパーフェクトな高精度ドライブが可能となります。

また、このI2S接続では、相互のグラウンドが切り離され、デジタル信号はL/Rデータと

ワードクロック、ピックロックの三つが分離して伝送されますので、極めて低ジッターでのデータ授受が実現します。そしてまた、I2S接続では、MSB DACへのPCM伝送レートは最大384kHz/32bitを、MSBユニバーサル・トランスポートではSACDのネイティブ伝送も可能とし、極めて高いレゾリューションによる理想的なD/A変換が実現します。



<MSB Pro I2S>接続用 CAT-6(LAN)ケーブル



Quad Rate USB

- USB2.0 で接続した PC などからの PCM と DSD 音楽ソースを D/A 変換することが可能です。⚠
- ・最大許容入力レートは次の通りです。
24bit/384kHz までの PCM と
ASIO Native による 256X(11.2MHz)までの DSD を
超低ジッター/高解像度で受けることが可能です。



⚠USB2.0 (Class Two Audio) 接続で DSD/PCM のハイレゾ・ファイル音源の再生をするには、対応するミュージックプレーヤーソフトを PC にインストールする必要があります。

また、Windows では専用のドライバーも PC にインストールする必要があります。(詳細は関連資料などをご参照ください)尚、MAC ではドライバーインストールは不要です。

レンダラー

- LAN ケーブルでネットワークオーディオ機器(ルーター)に接続し、NAS などのサーバーにある音源をネットワークプレーヤーとして再生することを可能とします。



システムクロック

MSB Select DAC には標準として超低ジッターの Femto クロック"Galaxy Clock"(ジッター性能 77 フェムト・クロック)が搭載されていますが、オプションとして、世界最高峰のジッターレベルを誇る"Femto 33 Clock"(ジッター性能 33 フェムト・クロック)へのアップグレードも可能としています。



"Galaxy Clock"



"Femto 33 Clock"

アナログ出力

ボリュームコントロール機能を有するアナログ出力モジュール(1 番目のアナログ入力を併備)は標準装備。バランス(XLR)仕様またはシングルエンド(RCA)仕様を指定可能です。

オペアンプやバッファなどを使用することなく DAC からの高出力をパッシブ・コントロールする Select DAC 独自の高ドライブ能力によって、高音質を極限にまで高めた圧倒的レゾリューションによる高 S/N を実現していますので、プリアンプを必要とせずダイレクトにパワーアンプを駆動できます。※



*バランス: 出力レベル : 10Vpp(3.5Vrms) @Volume100, 出力インピーダンス : 75Ω

*シングルエンド: 出力レベル : 7.8Vpp(2.8Vrms) @Volume100, 出力インピーダンス : 75Ω

■このモジュールには、アナログ入力も装備されていますので、フォノアンプやプリアンプなどのアナログ入力を接続することが可能です。

尚、アナログ入力を有効とするためにはメニュー・モードで"Analog Input"メニューの設定変更をする必要があります。→メニュー操作はメニュー・モード(15 ページ)を参照。

"Analog Input"メニュー設定について:

アナログ入力を無効とする("Off")か、有効とする("On")かが設定できます。(初期設定は"Off"となっています)

また、On モードには、"On-Volume Contolled" と、"On-Volume Bypassed" の二通りがあり選択できます。

"On-Volume Controlled" は、Select DAC のアナログ入力に固定レベルのアナログ出力機器(例えばフォノアンプなど*)を接続した場合の設定で、アナログ入力に対するボリュームコントロールを Select DAC 側で行ないません。

*Select DAC のアナログ入力にプリアンプを接続した場合でも、プリアンプ側のボリュームを最適レベルに固定し、Select DAC でボリュームコントロールする際もこの設定で行なえます。

"On-Volume Bypassed" は、Select DAC のアナログ入力にプリアンプ出力を接続使用する際の設定で、Select DAC のボリュームはバイパスし、アナログ入力に対するボリュームコントロールを接続したプリアンプで行ないます。

※もしどうしても、既存のプリアンプを Select DAC の出力の後に接続しプリアンプ側でボリュームコントロールする必要がある場合は、本機のボリューム設定を 94 としてください。最もノイズレベルが低い状態で、かつ、プリアンプのクリッピングも防止できます。

パワーサプライ

Select DAC 本体にはアナログ系/デジタル系を分離した左右2つのDC電源入力があります。ここに、付属のDC電源コード2本でパワーベース“Dual output Select power base”からのDC出力を繋ぎます。



パワーベースの電源ランプの点灯照度は、電源ボタンの下部・底面に位置する

DISPLAY *ノブを回して調節することが可能です。

LINK - NORMAL スイッチは Power Base 単体の場合は Normal に、複数の Power Base の照度を一括コントロールする場合は LINKED に設定します。



オプションのアップグレード・パワーベース“a pair of Single output SELECT Power Bases”について:

デジタル系とアナログ系へのDC供給を独立した2台の電源ユニットで行なう“a pair of Single output SELECT Power Bases”の場合は、それぞれの Power Base から1本ずつ本体にDC供給します。

その際、両方の Power Base の電源 ON/OFF を連動させるには、トリガー接続をします。

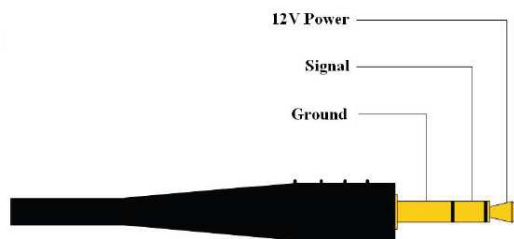
下記をご参照ください。



■トリガー

2台の電源ユニット相互のトリガー端子を、3.5mm ミニ 3 極フォーンプラグ・ケーブルで繋ぐと、電源 ON/OFF が連動します。

※注意:この端子は MSB 製品同士のトリガー目的以外には使用しないでください。(この端子のトリガー信号には 12VDC が使用されていますので、特にイヤフォンなどは、破損の恐れがありますので、絶対につながないでください)



12 Volt Remote Trigger wiring.

※このトリガー接続は他の MSB 製品との間でも同様に使用可能です。

※AC 接続は、Power Base の AC 電源入力に付属の AC 電源コードを繋ぎ、プラグを壁コンセント AC100V(50Hz/60Hz)に差し込みます。

■グラウンドジャンパーについて

・工場出荷時はデフォルト設定として、グラウンドジャンパーが相互接続されています。通常はこの状態で使用してください。

⚠ジャンパーを外したままの状態では絶対に使用しないでください。



・ジャンパーを外す場合は、下記のように一方のグラウンド端子からアンプのシャーシーグラウンド*への結線が必要です。これにより、アイソレーションが改善され音質改善となる場合があります。

⚠*アンプのスピーカー端子のマイナス側はグラウンドではないことが多く、そこには絶対につながないでください。
(相互機器を損傷させる恐れがあり保証対象外となります)



アンプのシャーシーグラウンドは、筐体を留めているネジを緩め、グラウンドケーブルのラグ端子を取り付けるのが確実です。

操作



■ **MENU** ボタン：各種動作モードを設定変更するためのメニュー・モードにアクセスします。もう一度押すとセットアップを終了します。



■ **INPUT SELECT** ボタン：左矢印ボタン/右矢印ボタンで希望の入力を切り替えます。AUTO 入力メニュー設定時では、有効なデジタル信号のある入力に自動的に切り替わります。
*メニューの操作中は、このボタンはメニュー項目の階層移動に使用します。



■ **MUTE / ENTER** ボタン：通常時はこのボタンは MUTE(ミュート)として機能。また、メニュー・モード時は、ENTER(決定)ボタンとして機能します。



■ **ボリューム** ノブ：通常時はボリュームコントロールとして機能します(0~106)。100 がリファレンスレベルです。
メニュー・モード時は、このノブはメニュー項目のスクロールに使用します。



■ **DISPLAY** ディスプレイ：左に選択された入力名を表示。右に入力デジタル信号のビット/サンプル周波数を表示します。中央にはボリュームレベルが表示されます。

■ **リモコン受光部**：本体には MSB アルミリモコンからの赤外線信号を受信する窓があります。

リモコン



リモコンの電池装着

本機のリモート・コントローラーは、CR2025 リチウムバッテリー2 個を使用します。電池を、次の手順で装着してください。

- 背面のバッテリーカバーを外します。
- バッテリー装着部の表示にしたがって、極性をまちがえないように電池を装着します。
- 背面カバーを元の通り取り付けます。

ご注意

※リモート・コントローラーによる操作ができなくなったら、上記の要領で電池を交換してください。
※長期間ご使用にならないときは、電池の液漏れを防止するため、電池を抜いてください。



安全に関するご注意




警告

リモコン用電池の取扱について

下記のことは必ず守ってください。電池の使い方を間違えると電池が発熱、液もれや破裂したり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
- 分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- +-を逆に入れないでください。
- +-をショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 電池そのものや電池を入れたリモコンの置き場所は直射日光・高温・高湿の場所を避けてください。電池には化学物質が入っているので、暑さや湿気は禁物です。特に高温・高湿、直射日光のあたる場所での保管はさげましょう。寿命が短くなるばかりか、破裂・液漏れをおこす恐れがあります。
- 電池のもれ液が漏れて目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがなどのおそれがあるのできれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- 長期間ご使用にならない場合はリモコンから電池を外してください。また、使い切った電池は、すぐに機器から取りだしてください。
- 電池の使用推奨期限:リモコンの働きが悪くなったりした場合や、また、通常は半年から一年を目安として交換されるようお勧めします。

メニュー・モード

本機は、以下のように、デジタル処理におけるメニュー・オプションの設定変更が可能となっています。
(メニューの表示は、■MENU ボタン  を押します)

以下は、通常、使用されることが比較的多いメニューアイテムです。

■Display Brightness : 1 - 10 の段階でディスプレイの明るさを調整できます。

■Display ON/ OFF :

OFF を選ぶとディスプレイは通常非点灯となりますが、何らかの操作をしたときにのみ一瞬点灯します。

■DSD Mode : DSD/SACD 再生時のリファレンス再生レベルの設定ができます。

Native: CD より 6dB 低い規格通りの設定です。最大ボリュームコントロールは 100 までです。

Optimized: CD より 4dB 低い現実的な設定です。フルボリュームコントロール(106 まで)が可能です。

■Analog Input : アナログ入力を無効とする("Off")か、有効とする("On")かを設定できます。

尚、On モードは、"On-Volume Contolled" と、"On-Volume Bypassed" の二通りから選択できます。

"On-Volume Controlled" は、Select DACのアナログ入力に固定レベルのアナログ出力機器(例えばCDプレーヤーなど)を接続した場合の設定で、アナログ入力に対するボリュームコントロールをSelect DAC側で行いません。

"On-Volume Bypassed" は、Select DACのアナログ入力にプリアンプ出力を接続使用する際の設定で、アナログ入力に対するボリュームコントロールは接続したプリアンプ側で行いません。

■Startup Volume : 電源 ON 時、最初のボリュームレベルを設定できます。

■Switching Mode :

"Manual with smart mode"の設定では、電源投入時に最初に検出されたアクティブな入力を選ばれ固定されます。入力ボタンを操作しない限りこの入力は切り替わりません。また、アクティブな別の入力がある場合には入力ボタンで手動切り替えが行なえます。

"Auto with smart mode"の設定では、上記と似てはいますが、別のアクティブな入力は自動で選ばれます。

"Auto with all inputs"の設定では、装備されている入力が自動で選ばれます。

※入力モジュール・スロットは D~A の順に自動選択時の優先度が高くなっています。

■Restore Setting : メニュー・オプションの各項目を出荷時初期設定に戻します。

※他全てのメニュー項目と設定のしかたは次頁をご覧ください。

[メニュー・ツリー]

1. フロントパネルの

■MENU ボタン
を押すとメニューが
ディスプレイに表示されます。

・設定項目は右図の通りです。

2. 項目の上下移動は、

■ボリュームノブ
を回して行ないます。

3. 左右移動は、左右矢印の

■INPUT SELECT ボタン
で行ないます。

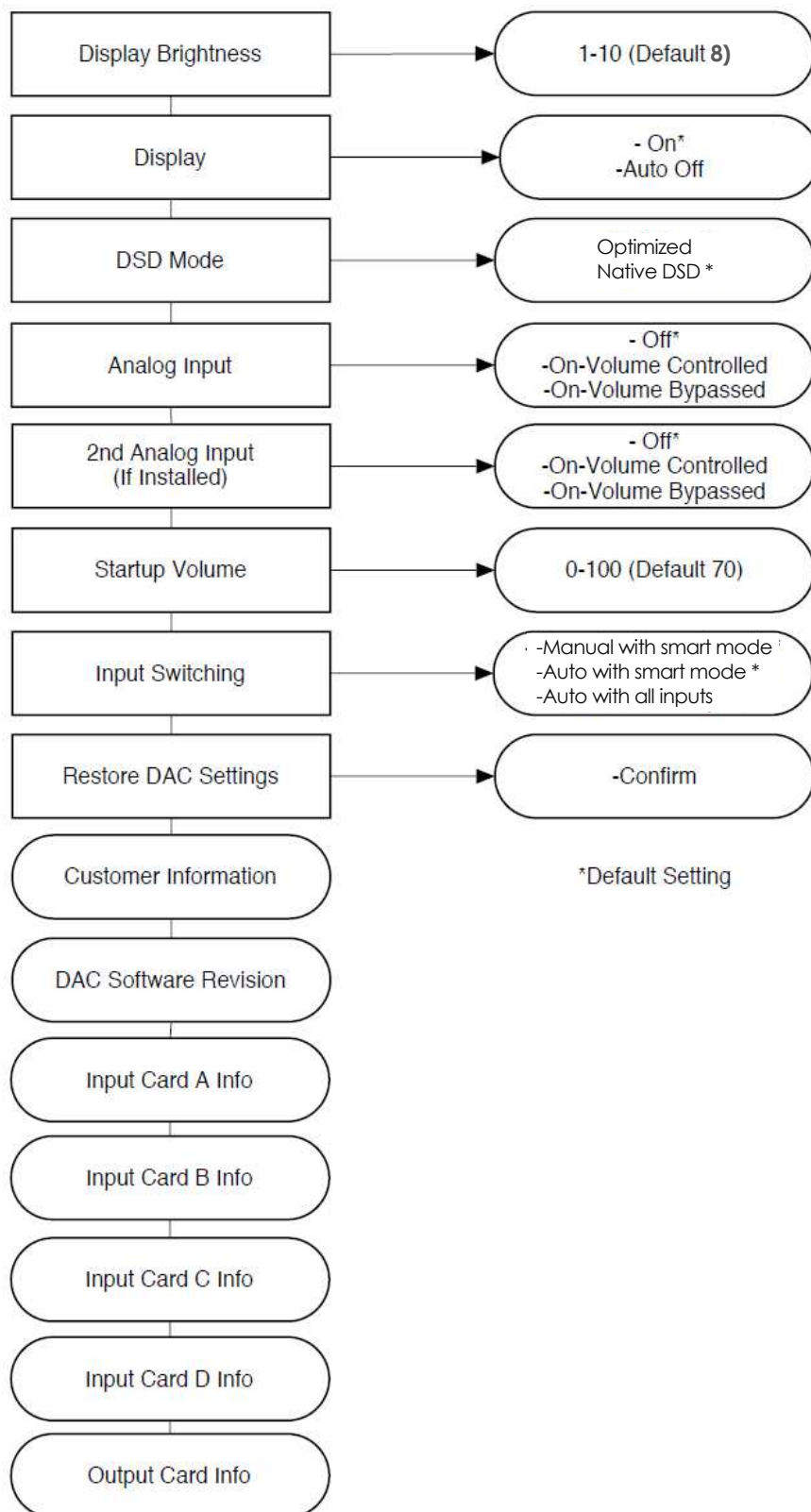
4. 設定項目が決定したら

■ENTER ボタン
を押して確定させます。

※各項目のデフォルト設定は
*で表わしています。

5. セットアップを終了するには、

■MENU ボタン
を押します



トラブルシューティング

- 音が出ない/ディスプレイのサンプル周波数表示が出ず"No Signal"と表示される：
デジタル入力が検出されないことを示します。入力切替を確認してください。入力切替が正しい場合は、接続したデジタルケーブルや、接続先のデジタルソース機器(CDトランスポートなど)のデジタル出力設定などが適正かどうかなどをチェックしてください。
- 音が出ない/ディスプレイのビットレート欄に"0 bits"と表示される：
デジタル入力は検出されていますが再生状態ではないことを示します。ソースが再生可能なものであるかどうかチェックしてください。
- 音が出ない/ディスプレイにはサンプル周波数とビットレート表示がされている：
電源ユニットと本機をつなぐDC電源コードがきちんと接続されているかどうかをチェックしてください。
アナログ出力が正しくアンプに接続されているかどうかチェックしてください。
ボリュームコントロールが下がっていないかどうかチェックしてください。
- 大きい音が歪む：
ボリュームレベルが適正かどうかをチェックしてください。接続したアンプの入力許容レベルを上回ると音が歪みます。
- ハイレゾ音源のはずがサンプル周波数48kHzなどと低く表示される：
ソース側のコンフィギュレーションがダウンサンプリング設定になっていないかどうかチェックしてください。
- USB接続で再生しない：
ご使用のPC及びミュージックプレーヤーソフトの設定が正しいかどうかご確認ください。
- MSB PRO I2Sで音が出ない：
MSB PRO I2Sと、以前のMSBトランスポートなどに搭載されているMSB Networkとは互換性がありません。トランスポート側がMSB PRO I2Sであるかどうかご確認ください。
- アナログ入力で音が出ない：
本機のメニュー・オプションのInput Setupのデフォルト設定は"Analog Input" = "Off" (無効)となっています。アナログ入力を有効とするには、この設定を"On-Volume Bypassed" または、 "On-Volume Controlled"としてください。

"On-Volume Bypassed" は、Select DACのアナログ入力にプリアンプ出力を接続使用する際の設定で、アナログ入力に対するボリュームコントロールは接続したプリアンプ側で行ないます。

"On-Volume Controlled" は、Select DACのアナログ入力に固定レベルのアナログ出力機器(例えばCDプレーヤーなど)を接続した場合に、アナログ入力に対するボリュームコントロールをSelect DAC側で行ないます。

主な仕様

【 Select DAC 】 Specifications

- 入力: 4 系統(A~D)の slots に同軸/光、AES/EBU、PRO I2S(2 系統)、Quad Rate USB、レンダラー入力などのデジタルと、2 番目のアナログ入力を装備可能
- 許容デジタル入力:
[PCM] 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 (kHz) [全デジタル入力/24 ビット, PRO I2S/32 ビット]
[DSD] 2.8MHz(64x), 5.6MHz(128x) [全デジタル入力 MSB 接続時/DoP 及び ASIO Native]
11.2MHz(256x) [Quad Rate USB にて ASIO Native]
- アナログ出力レベル: 3.5V rms (XLR), 2.8V rms (RCA) ※0dB ポジション
- 出力インピーダンス: 75Ω
- ボリュームコントロール: 0~106 (ステップ:1dB)
- ダイナミックレンジ: 173dB(28.5 有効ビット)
- アナログ XLR 出力極性: Pin 1 = Ground, Pin 2 = Hot, Pin 3 = cold
- 電源: 100V AC, 50/60Hz
- 消費電力: 70W, 1W 以下(スタンバイ時)
- 外形寸法/重量: 本体,電源各 445W x 89H x 445D (mm) / 本体 16kg,電源 21kg
- 付属: MSB アルミリモコン

※仕様は予告なく変更される場合があります。

保証

本機の保証はアクシス株式会社が行ないます。

同梱の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後 10 日以内に下記宛にご返送ください。

折り返し、保証書をお送りいたします。

無償保証期間は 2 年間です。

保証についての詳細は、保証書をご覧ください。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27

アクシス株式会社

TEL 03-5410-0071 / FAX 03-5410-0622

AXiSS

輸入発売元: アクシス株式会社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27 TEL:03-5410-0071 / FAX:03-5410-0622
E-Mail: post@axiss.co.jp Web: www.axiss.co.jp

©2016.02